

(様式⑦-1) 確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 令和6年度 学校力向上プラン【学校評価書】

中学校区におけるめざす子ども像・・・「難しい課題でも、創意工夫しながら解決し、挑戦しつづける子」

堺市立上野芝中学校
校長 川島 強

学校教育目標；自ら動き、協働し、挑戦する生徒の育成
重点目標（組織目標）；自ら動き、協働し、挑戦する生徒を育てるため、少人数・ノート指導、生徒PC活用、指導方法の工夫等による基礎事項の理解・定着、自分で考え・まとめ・発表・表現する、生徒が主体となって取り組む機会や相談機会の充実、支援を必要とする生徒の情報を共有し、指導の充実を図るとともに、違いを認め合い、いじめを許さない仲間づくりをすすめる。

確かな学びの現状	豊かな心・健やかな体の現状
積極的に発言・発表したり、グループで深め学ぶ生徒の姿が見られ、教員は教え込む授業から生徒が考える授業へ、また、グループ学習やICT活用等により授業改善を続けている。定期テストや日々の授業の状況をもとに授業改善を進めるとともに、自身で考え・対話・発表・表現、自己決定・試行錯誤・成功体験積み重ねを支援し、自ら動き、他の生徒と協働し、新たな価値の創造に挑戦する生徒を育てていきたい。	学年や学校行事を中心に仲間づくり、工夫された道徳授業や日常の声掛けや教育相談、企業や専門家など様々な講師から直接学ぶ時間を通して生徒の心を育む取組を行ってきた。取組が成果を上げつつあることは生徒アンケートからうかがえた。さらに充実させ、他を理解し、違いを認め合って協働していくことができる生徒を育てていきたい。また、体力向上と健康保持増進に向けた取組も進めていきたい。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組) (★中学校区での取組に係る取組内容)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)				
								自己評価	学校関係者評価			
確かな学び	学力向上と授業改善	基礎基本の理解・定着と学力向上	●少人数指導、ノート指導、生徒PCやICT機器の活用や指導方法の工夫等により、基礎事項の理解・定着を図る。	アンケートによる肯定的評価80%以上	学校教育アンケート、各調査結果、授業や活動の観察、実践報告	年度末	○	年度末に向け、概ね達成できている。	○	生徒の学校教育アンケート(以下、生徒)「少人数授業は分かりやすい」の肯定的回答は82%、「この時間で何を学ぶかがわかり、わかりやすい」は92%。保護者「授業が分かりやすいと言っている」76%。教職員「課題の明示、ノート指導、生徒PCの活用、指導方法の工夫等により、基礎基本の理解・定着を図っている」94%、中3府チャレンジテストで向上。生徒の現状を十分把握し、指導改善に活かし、基礎事項のさらなる定着に向け、教科内や学校全体で検討したい。	○	アンケート回答から先生方の指導方法向上のご尽力の成果であり、生徒にもよく伝わっていると感じます。有難いです。より一層、個々の生徒へ反映されることを希望します。少人数授業のような発表の機会も増える取組、先生方の負担は増しますが、引き続き充実させてください。
			授業のねらい・目標を明確にし、振り返りを行う。	アンケートによる肯定的評価80%以上		年度末	◎	1.1学期ともよく達成できている。	◎			
		主体的、対話的で深い学びの実現をめざした授業改善	●★自分で考え、まとめ、発表・表現する機会を充実	アンケートによる肯定的評価80%以上、調査結果経年比較		年度末	○	1.2学期ともよく達成できている。	○	生徒「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがよくある」56%、「先生は教え方を工夫している(グループで学習したり、工夫された教材、PC活用等により、わかりやすく教えてくれている)」87%。保護者「教員は授業を工夫し改善しようとしている」75%。教職員「自分で考え、まとめ、発表・表現する機会の充実等、主体的態度を育てる取組を行っている」90%、「ICT活用や授業形態、教材の工夫を行った」77%。「自分で考えが生徒に十分に伝わっていないことが推測される。生徒にとってどうなのかを丁寧に把握し、自分の学び、他の生徒の考えに触れ認め、高めあう学びの充実に向け、教科及び全体で検討していきたい。	○	生徒が自分の考えをまとめる力は、日々の経験の積み重ねが大切かと思えます。文章を読む、書くという機会を増やして欲しいと、図書サポーターとして願います。先日インドネシア領事をお迎えした特別授業を参観しました、生徒たちが楽しそうで、みんなで取り組めていることが良かった。ICTを活用した授業形態もしっかり根付いた感じがします、今後もソフト・ハード面を充実させ、また、ルールとマナーを守った使い方の指導をお願いします。一方で生徒の主体性の低さが気になります、生徒と先生の認識の差の丁寧な把握とともに、発表する機会を増やすだけでなく、積極性を引き出すような別のアプローチも検討ください。
			複数での対話、追求、認め合い高める、表現する機会を充実	アンケートによる肯定的評価80%以上、調査結果経年比較		年度末	○	年度末に向け、概ね達成できている。	○		○	
		ICT活用等指導方法や教材の工夫等による授業改善	アンケートによる肯定的評価80%以上、調査結果経年比較	年度末	○	年度末に向け、概ね達成できている。	◎		◎			
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実と体力の向上	自己肯定感を高め、豊かな人権感覚を身につけ、行動しようとする態度の育成	道徳授業及び全ての教育活動で人権意識向上を図る。	アンケートによる肯定的評価80%以上	学校教育アンケート、各調査結果、授業や活動の観察、実践報告	年度末	○	年度末に向け、概ね達成できている。	◎	生徒「豊かな心のあり方や平和・人権について学ぶ機会が多い」87%、「自分が好き」79%、「他の生徒も大切な存在」89%、「体育大会や文化活動発表会などの学校行事に積極的に取り組んでいる」91%、「先生は親身になって応じてくれる」86%、「クラスでは、軽い話を誰とでもできる」84%。生徒(堺市調査)「自分のよいところを出す場面がある」72%。保護者「生徒は道徳心等を身に付けて正しい行動ができている」88%、「教職員は、すべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている」84%、「生徒会活動は活発である」81%。教職員「生徒の人権意識が向上している」79%、「授業・行事・部活等で達成感、自己肯定感、自尊感情に醸成に取り組んでいる」94%。生徒主体の活動を充実させ、自信をもち、自分も周りの生徒もかけがえのない存在であることを様々な場で学ばせたい。	◎	体育大会等の行事がコロナ前と同等に復活し、積極的な取り組みも増え、多くの生徒の姿勢も積極的に素晴らしいです。この積極性が授業にも出せるような工夫を引き続き検討ください。一方で、1年生のアンケート結果「学校へ行くのが楽しい」の低い数字が大変気になります。また、モラルの低下、規律違反への抵抗感減少等も散見され、心配しています。人権については、グローバル化や多様性が進みお互いが認め尊重しあう心を持てる生徒になってほしい。また、自信がもてるというのは大切なことです、自信があればこそ他者への配慮もできると考えます、継続した取組をお願いします。不登校生徒に支援する取組に地域の私たちが協力できることはないかも考えたいです。
			●★生徒が主体となって取り組む機会の充実	アンケートによる肯定的評価80%以上		年度末	○	年度末に向け、概ね達成できている。	◎		◎	
			●相談機会の充実を図り、違いを認め合い、いじめを許さない仲間づくりをすすめる。	アンケートによる肯定的評価80%以上		年度末	◎	1.2学期ともよく達成できている。	◎		◎	
		運動に親しむ態度の育成、健康の保持増進、体力向上	運動を楽しむ機会、環境を充実させ、体力向上を図る。	アンケートによる肯定的評価80%以上、調査結果経年比較		年度末	◎	1.2学期ともよく達成できている。	◎	生徒「体を動かすことは楽しい、自分の体力は以前より向上した」80%、「命の大切さや心の健康を保つことの大切さについて学ぶ機会が多い」91%。保護者「スポーツに親しむことや体力の向上に取り組んでいる」85%。教職員「命の大切さや心の健康を保つことの大切さについて学び、生徒自身が考えられるように指導している」88%。中2全国体力・運動能力、運動習慣等調査体力合計点で男女とも全国及び堺市を上回る。身体を動かす楽しさを伝えていきたい。	◎	これからも、体力の向上に向けて、がんばってほしいと思います。生徒個々に応じた運動は、心の在り方にも影響を与える良い取組と思います、継続してください。体育大会での生徒の頑張りや楽しそうな様子を見て、誇らしい気持ちになります。先生方の指導とそれに応える生徒たち、素晴らしいです。たとえばスポーツが得意でなくても体を動かすことの大切さを伝え、運動を習慣づける指導を引き続きお願いします。
学校独自の課題	生徒支援の充実	●支援を必要とする生徒の情報を共有し、指導の充実を図る。	アンケートによる肯定的評価80%以上	学校教育アンケート、授業や活動の観察、各調査結果	年度末	○	年度末に向け、概ね達成できている。	◎	生徒「担任の先生以外にも相談できる先生がいる」87%。保護者「子どものことについて、学校に相談しやすい」76%。教職員「生徒の悩みや困り感に寄り添い、生徒を伸ばす生徒指導に取り組んでいる」91%、「保護者の方への丁寧な説明、報告に努めている」97%、「小中合同研修会等により、中学校区での相互交流や共通理解が深まっている」60%。生徒「私は、部活動に積極的に取り組んでいる」85%。保護者「学校だよりや学年だより、HP等で教育活動をよく知らせている」83%、「子どもの教育の充実のために教員の負担軽減は重要であると思う」93%。今年度、1校時開始時刻を5分早めた。情報共有をもとに様々な教職員による支援の充実を図り、コロナ禍後2回目の開催となった中学校区夏季合同研修会についてはR7年度から始まる学校群の取組に向けて小中連携をさらに深め、給食開始に伴う日課の工夫も検討していきたい。	◎	来年度は給食が始まり、先生方の業務負担増加を危惧しています。生徒たちは、小学校時代の経験がありますので、給食自体はこなしていくかと思いますが、給食と一緒に摂る場面での、トラブルやいじめにつながるようなフザケに対するケアもお願いします。昼休みが短くなり、図書室利用が減少するのは？と心配もしています。今年度の図書室電算化準備も終了が見えてきました。来年度の図書室利用を本来は促進したいのですが、学習活動の基礎となるハード・ソフトの環境整備について引き続き取り組んでほしい。生徒支援や教育環境向上のため、小中での情報共有は重要です、学校群の取組に期待します。校区の幼小中と密なつながりを持ち、共有し、地域も一緒に子どもたちの成長を見守っていききたい、また、生徒が将来の地域の担い手になってもらえるよう、地域の私たちも考えていきたい。	
	地域協働の充実	小中連携及び、地域理解の授業やHPによる発信、オープンスクール等の実施により地域協働の充実を図る。	アンケートによる肯定的評価80%以上		年度末	○	年度末に向け、概ね達成できている。	○		○		
	教育環境の充実	教育環境としての職員の資質をさらに高めるとともに、教育活動に集中できる環境づくり(日課の工夫、生徒の自主的な部活動運営等)をすすめる。	アンケートによる肯定的評価80%以上、調査結果経年比較		年度末	○	年度末に向け、概ね達成できている。	○		○		

校長より(年度末)
【確かな学び】自分で考え、それをもとに他の生徒と一緒に学びを深める生徒の姿が見られ、教員は主体的、対話的で深い学びの実現をめざした授業づくりをすすめている。把握した生徒の学びの状況をもとに授業改善をさらに進め、自身や複数で考え・対話・追求・発表・表現する機会を充実させたい。【豊かな心・健やかな体】授業だけでなく文化的・体育的行事での生徒主体の活動や仲間づくり、道徳授業や日常の声掛けや教育相談、外部講師から学ぶ時間等を通して豊かな心・健やかな体を育む取組を行った。さらに充実させ、生徒主体、協働し完遂する機会、共有した生徒情報をもとにした相談機会や指導の充実、違いを認め合い、いじめを許さない仲間づくりを進めたい。【学校独自の課題】支援を必要とする生徒について全教職員で共有し支援に活かす取組を進めた。小中合同研修会はR7年度から始まる学校群について理解を深めた。日課の変更、市で取り組む教職員の働き方改革に取り組んだ。学校群、教育環境の充実にも取り組んでいきたい。生徒が、自分は大切にされ、努力を認められ、成長を感じ、自信をもち、自ら動き・協働し・新たなことに挑戦できる、「行くのが楽しい」学校となるよう来年度も進めていきたい。

学校関係者評価者から(年度末)
R8年度制服変更に関して、今年度よりの準備、ありがとうございます。来年度も生徒や保護者の意見も聞いていただき、スムーズな移行をお願いします。変更に伴い、ジェンダーレス教育や人権教育も進めていただきたいと思います。不登校生徒の情報、通級指導教室の実績、生徒指導の問題の情報など、地域と共有できるものは、していただき、地域として協力していただけたらと考えています。アンケート「時間やルールを守っている」に対し、先生方50%台に対し、生徒90%超であったことが気になります、単なる遅刻程度であったとしても、生徒には自覚をもってほしい、引き続き指導をお願いします。また、困り感を抱える生徒、様々な課題を抱える生徒への支援、学校だけでは解決することは難しい事柄については地域とも共有していきましょう。学習活動、仲間づくり、先生との触れ合い、すべて学校に行くのが楽しくなければ達成できません。「行くのが楽しい」学校づくりを今後も進めてください。1年間ありがとうございました。